

決算説明資料

2023年度第1四半期決算概況

2023年8月2日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2023年度第1四半期決算

事業環境	4
連結業績概要（対前年同期実績）	5
セグメント別売上収益	6
セグメント別コア営業利益	7
コア営業利益分析（セグメント別）	8
非経常項目内訳	13
連結財政状態計算書	14
連結キャッシュ・フロー	15
その他	16

（参考資料）

セグメント別売上収益（四半期推移）	19
セグメント別コア営業利益（四半期推移）	20
売上収益分析（セグメント別）	21
主要グループ会社業績動向	24
地域別農薬売上収益	25






















2023年度第1四半期決算

経済情勢

- ウクライナ紛争や米中対立などの地政学的要因に加え、インフレに伴う各国の金融政策影響や個人消費の落ち込みなどにより、景気の先行きに対する不透明感が広まる
- 各地域で経済状況に差があるものの、**総じて厳しい事業環境**

主要事業の環境

状況

石化・原料市況	末端需要の減少により、石化市況は低マージンが続く	  
自動車	半導体不足の解消が進み自動車生産台数は回復傾向も、そのペースは遅く、本格的な需要増はまだ見られず	  
ディスプレイ	TV：末端需要は低迷。他社新增設により競争環境は激化。 モバイル：末端需要は低調も、OLED部材は比較的影響小さい	  
半導体	半導体は調整局面に入っており、関連材料の需要は弱い	  
農薬	1 Qは非需要期。海外では市場での流通在庫が増加傾向	  
メチオニン	需要低迷等により、メチオニン市況は下落が進む	  
医薬品	独占販売期間終了によりラツータ販売は大きく減少 基幹3製品の拡販は概ね想定どおり	  

連結業績概要 (対前年同期実績)

5

単位:億円

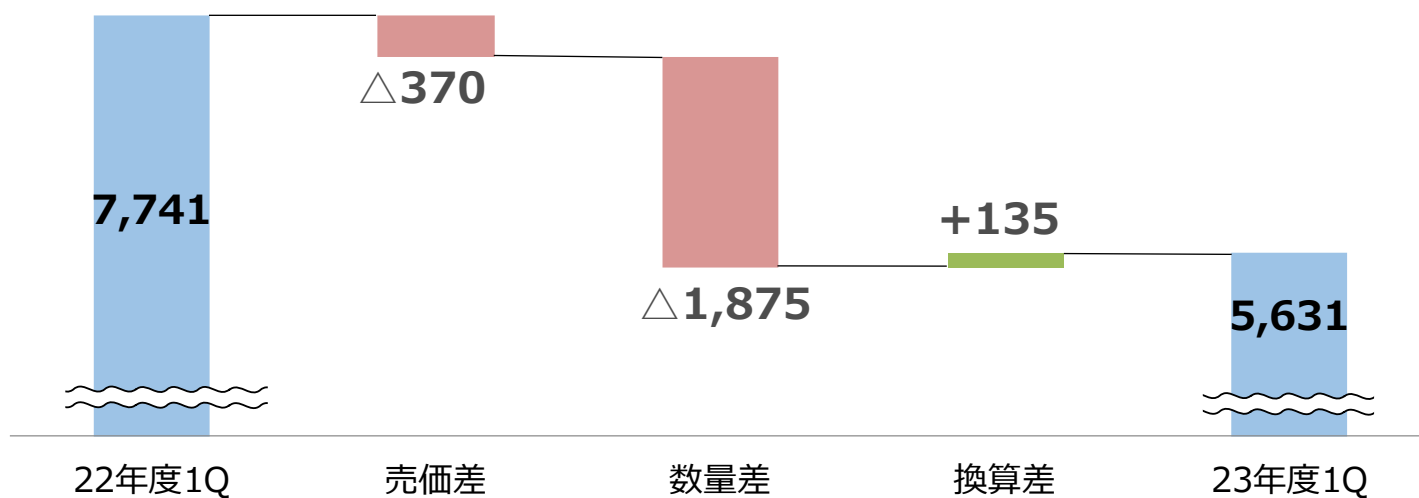
	22年度1Q	23年度1Q	増減	増減率
売上収益	7,741	5,631	△2,110	△27.3%
コア営業利益 (△は損失)	641	△ 536	△1,177	-
(うち持分法による投資損益)	(127)	(△ 120)	(△247)	-
非経常項目	22	△ 181	△203	-
営業利益 (△は損失)	663	△ 717	△1,380	-
金融損益	474	219	△255	-
(うち為替差損益)	(498)	(△ 238)	(△261)	-
法人所得税費用	△285	△ 13	272	-
非支配持分損益	△151	180	331	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (△は損失)	700	△ 332	△1,031	-
ROE	5.5%	△ 2.8%		
平均為替レート (円/USD)	129.73	137.49		
ナフサ価格 (円/KL)	86,100	67,500		
海外売上比率	71.3%	65.8%		

セグメント別売上収益

単位:億円

	22年度1Q	23年度1Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
エッセンシャルケミカルズ	2,386	1,924	△462	△19.4%	△290	△234	62
エネルギー・機能材料	864	734	△130	△15.1%	0	△138	7
情報電子化学	1,147	945	△202	△17.6%	0	△214	12
健康・農業関連事業	1,526	1,027	△498	△32.7%	△70	△459	31
医薬品	1,677	830	△847	△50.5%	△10	△860	22
その他	142	173	31	21.5%	0	31	0
合計	7,741	5,631	△2,110	△27.3%	△370	△1,875	135

増減分析 (全社計)

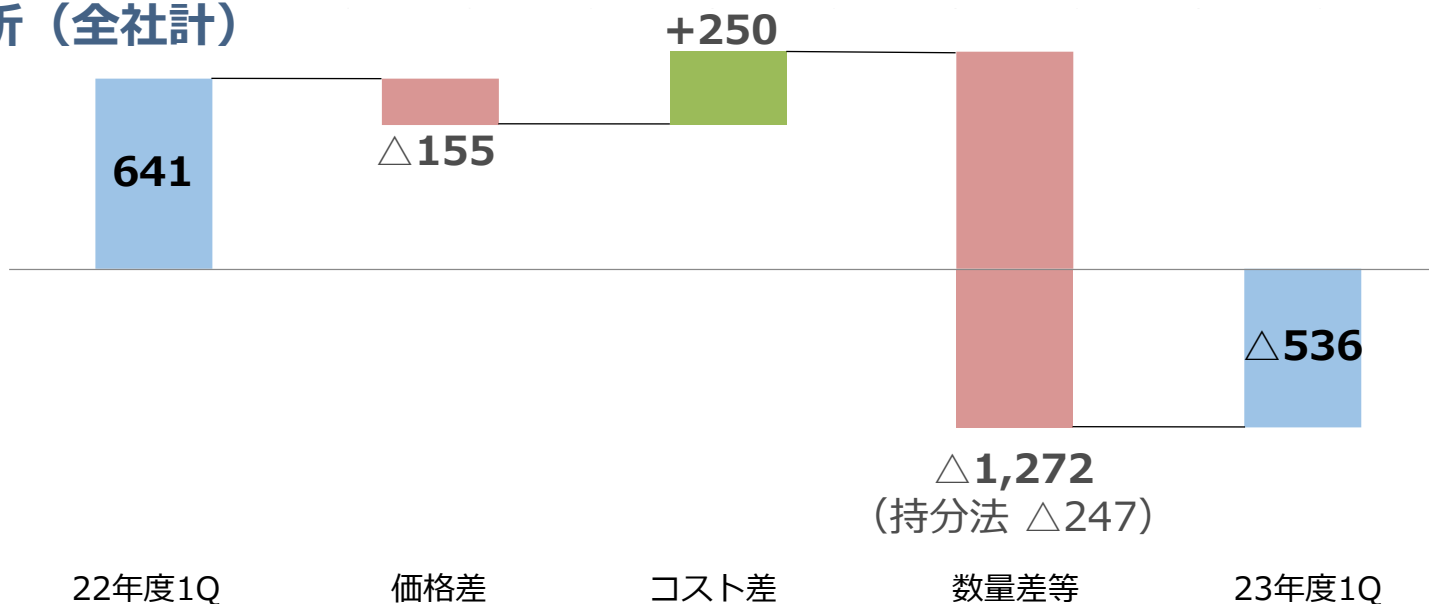


セグメント別コア営業利益

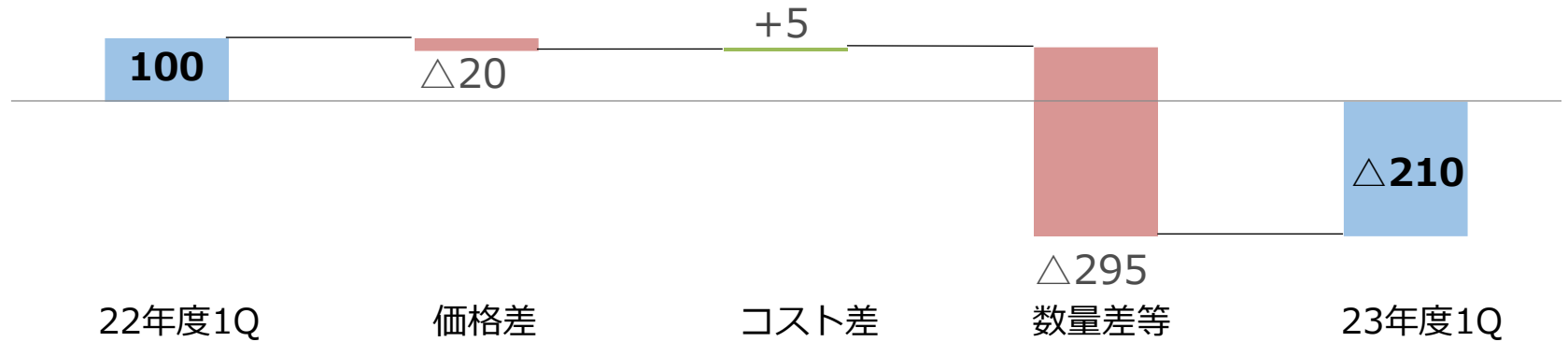
単位:億円

	22年度1Q	23年度1Q	増減	価格差	コスト差	数量差等
エッセンシャルケミカルズ	100	△210	△310	△20	5	△295
エネルギー・機能材料	66	30	△36	△10	5	△31
情報電子化学	158	67	△91	0	35	△126
健康・農業関連事業	219	△70	△290	△115	15	△190
医薬品	141	△333	△473	△10	190	△653
その他 全社費用等	△43	△19	23	0	0	23
合計	641	△536	△1,177	△155	250	△1,272

増減分析 (全社計)

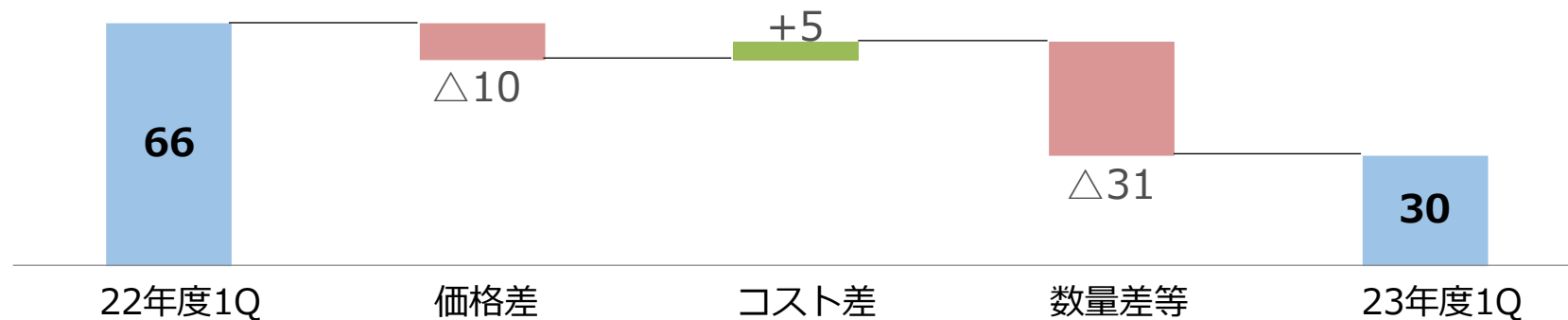


23年度第1四半期コア営業利益 $\Delta 210$ 億円 (前年同期比 $\Delta 310$ 億円)



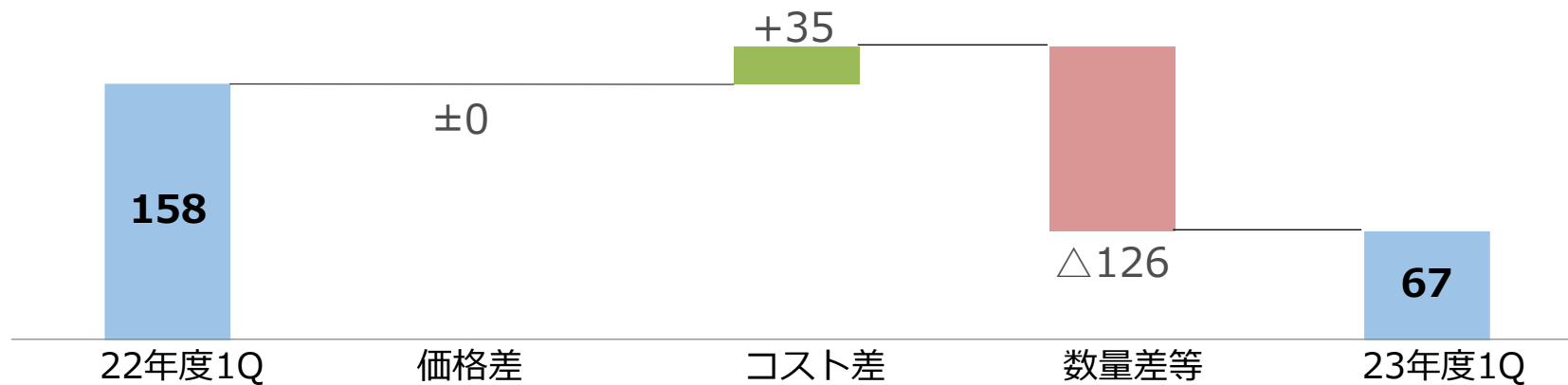
価格差	合成樹脂やメタアクリル、各種工業薬品等は製品市況の下落に伴い、 取引条件が悪化
数量差等	ペトロ・ラービグ社の業績悪化に加え、自動車用途を中心に需要が 落ち込んだことにより出荷が減少

23年度第1四半期コア営業利益 30億円 (前年同期比△36億円)



価格差	アルミニウムや正極材料の原料貴金属の市況下落に伴い、交易条件が悪化
数量差等	自動車用途を中心にレゾルシン等の出荷が低調

23年度第1四半期コア営業利益 67億円 (前年同期比△91億円)



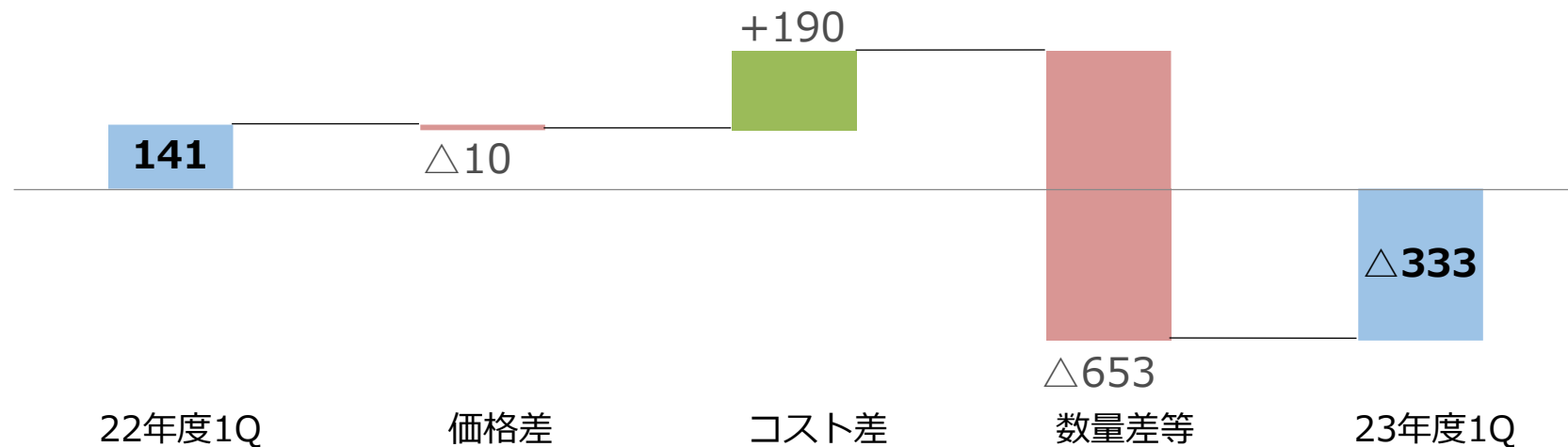
価格差	ディスプレイ	偏光フィルム売価下落
	半導体	原料価格高騰に伴う高純度ケミカルの値上げ
数量差等	ディスプレイ	TV用途を中心に出荷が減少
	半導体	高純度ケミカルやフォトレジストの出荷減少

23年度第1四半期コア営業利益 $\Delta 70$ 億円 (前年同期比 $\Delta 290$ 億円)



価格差	メチオニン 市況下落の一方、用役価格の上昇により交易条件が悪化
コスト差	メチオニン 償却費負担の軽減
数量差等	農薬 現地流通在庫増加に伴い南米等で出荷が減少

23年度第1四半期コア営業利益 $\Delta 333$ 億円 (前年同期比 $\Delta 473$ 億円)



価格差	日本国内における薬価改定の影響により売価が下落
コスト差	北米再編・合理化による固定費削減
数量差等	ラツーダの独占販売期間終了に伴う出荷減

単位:億円

	22年度1Q	23年度1Q	増減
事業構造改善費用	△21	△ 193	△172
その他	43	11	△32
非経常項目 計	22	△ 181	△203

連結財政状態計算書

単位:億円

	23.3月末	23.6月末	増減
流動資産	17,629	18,519	890
現金及び現金同等物	3,058	3,231	173
営業債権及びその他の債権	6,032	5,885	△146
棚卸資産	7,445	8,144	699
その他	1,094	1,259	165
非流動資産	24,026	25,219	1,193
有形固定資産	8,294	8,592	299
のれん及び無形資産	6,709	7,201	492
その他	9,024	9,426	402
資産合計	41,655	43,738	2,083

	23.3月末	23.6月末	増減
負債	26,763	28,239	1,475
営業債務及びその他の債務	5,159	5,301	142
有利子負債	14,614	16,326	1,712
その他	6,991	6,612	△378
資本	14,892	15,499	608
株主資本	9,730	9,358	△373
その他の資本の構成要素	1,982	2,890	909
非支配持分	3,180	3,251	71
負債及び資本合計	41,655	43,738	2,083
親会社所有者帰属持分比率	28.1%	28.0%	△ 0.1%
D/Eレシオ (倍)	1.0	1.1	0.1

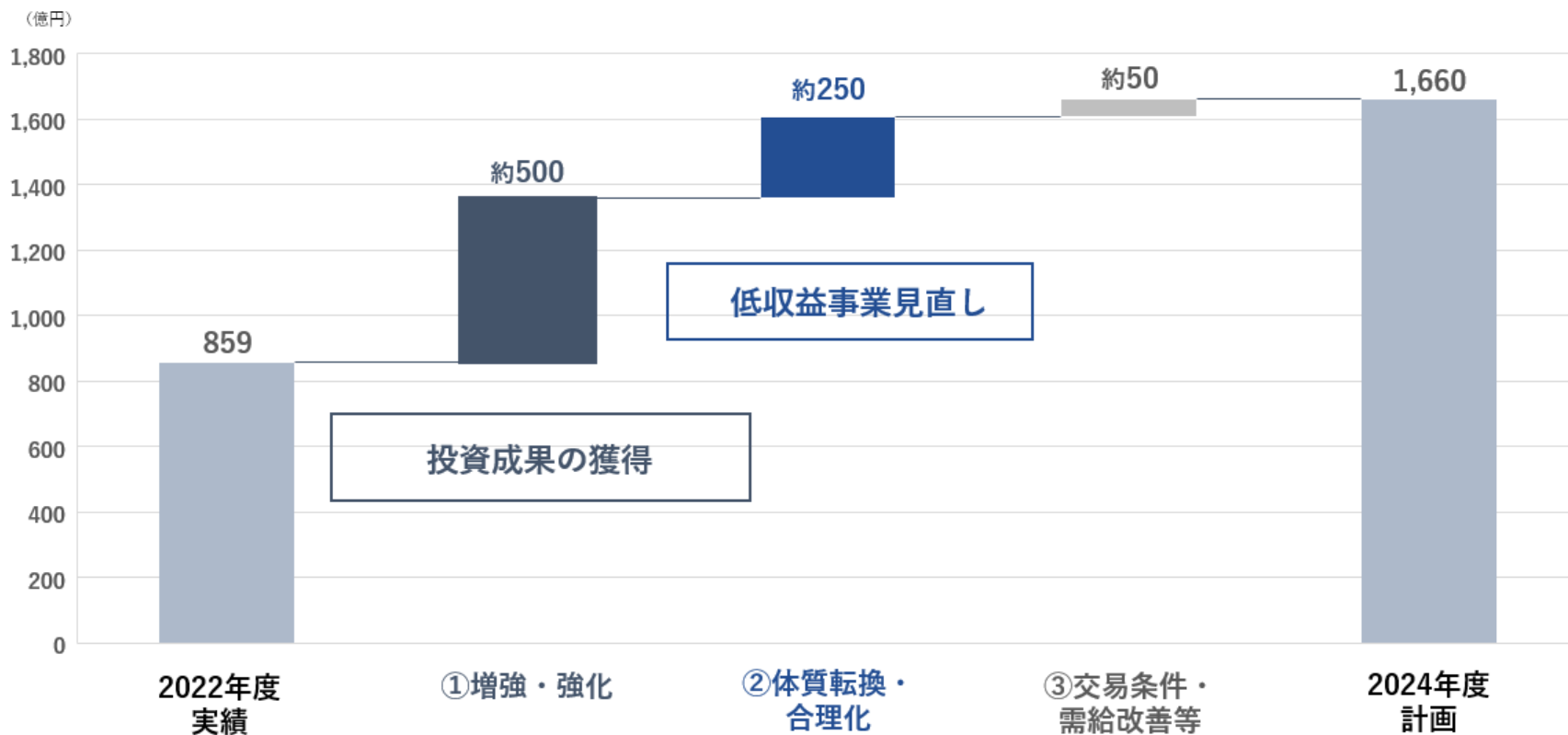
単位:億円

	22年度1Q	23年度1Q	増減
営業キャッシュ・フロー	426	△ 1,319	△1,745
投資キャッシュ・フロー	460	△ 134	△595
フリー・キャッシュ・フロー	887	△ 1,454	△2,340
財務キャッシュ・フロー	115	1,420	1,305
その他	330	195	△135
現金及び現金同等物の増減	1,332	162	△1,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,986	3,231	△1,755

2024年度への増益ドライバー（コア営業利益：医薬品を除く4部門）



成長事業の**増強・強化**と低収益事業の**体質転換・合理化**により、着実な業績改善を見込む

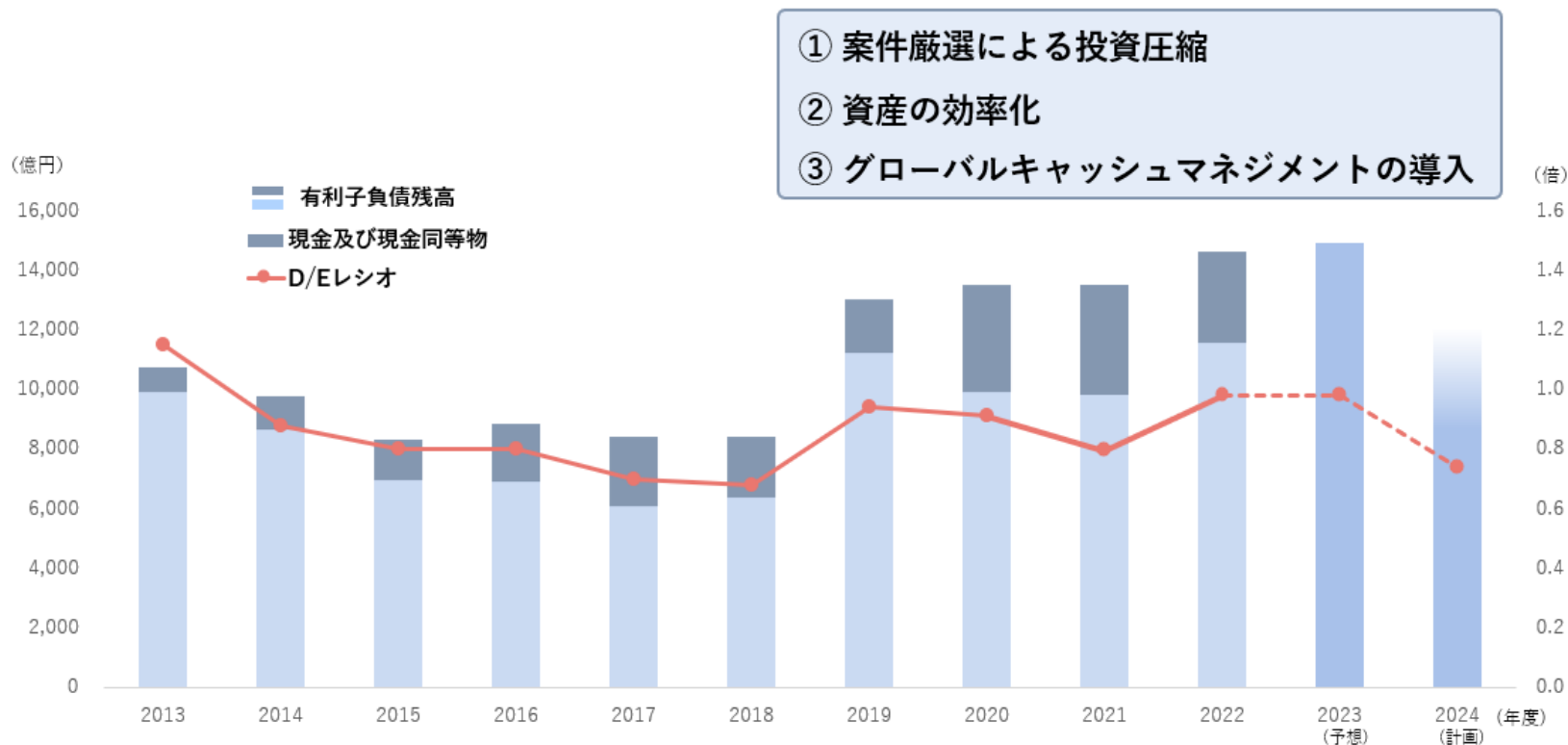


2022年度決算 および経営戦略説明会資料（2023年5月15日付）より抜粋

〔財務体質〕 有利子負債、D/Eレシオ



3つの施策により、2024年度末D/Eレシオ0.7倍台を目指す



2022年度決算 および経営戦略説明会資料（2023年5月15日付）より抜粋

(参考資料)

セグメント別売上収益 (四半期推移)

単位:億円

	22年度				23年度
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q
エッセンシャルケミカルズ	2,386	2,287	2,082	1,774	1,924
エネルギー・機能材料	864	871	836	853	734
情報電子化学	1,147	1,075	1,164	926	945
健康・農業関連事業	1,526	1,413	1,453	1,592	1,027
医薬品	1,677	1,667	1,480	1,024	830
その他	142	230	269	213	173
合計	7,741	7,544	7,285	6,382	5,631

セグメント別コア営業利益 (四半期推移)

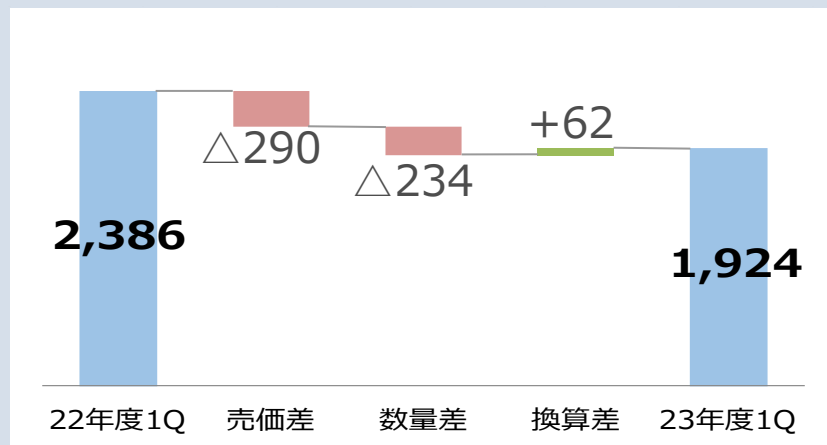
20

単位:億円

	22年度				23年度
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q
エッセンシャルケミカルズ	100	133	△253	△322	△210
エネルギー・機能材料	66	68	34	△16	30
情報電子化学	158	107	173	39	67
健康・農業関連事業	219	144	109	101	△70
医薬品	141	111	179	△269	△333
その他 全社費用等	△43	△48	23	△26	△19
合計	641	515	265	△494	△536

売上収益増減分析 (対前年同期実績)

エッセンシャルケミカルズセグメント



1,924億円 (前年同期比△462億円)

売価差
△290億円

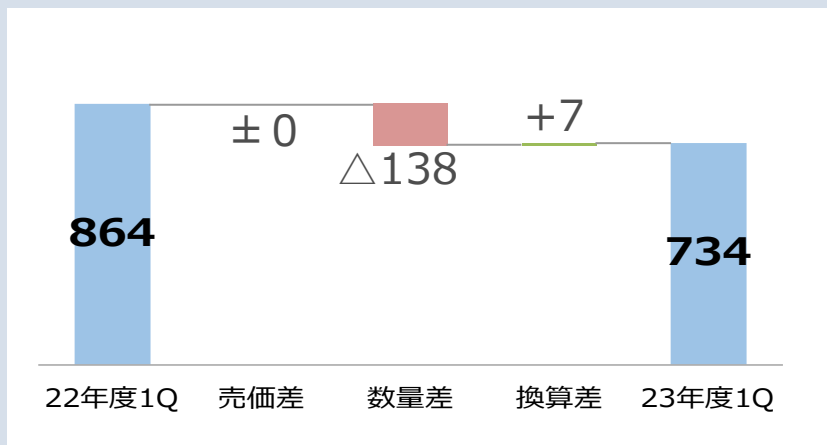
□ 市況下落

数量差
△234億円

□ 自動車用途等出荷減 (MMA等)

換算差
+62億円

エネルギー・機能材料セグメント



734億円 (前年同期比△130億円)

売価差
±0億円

□ アルミナ製品値上げ
□ アルミニウム市況下落

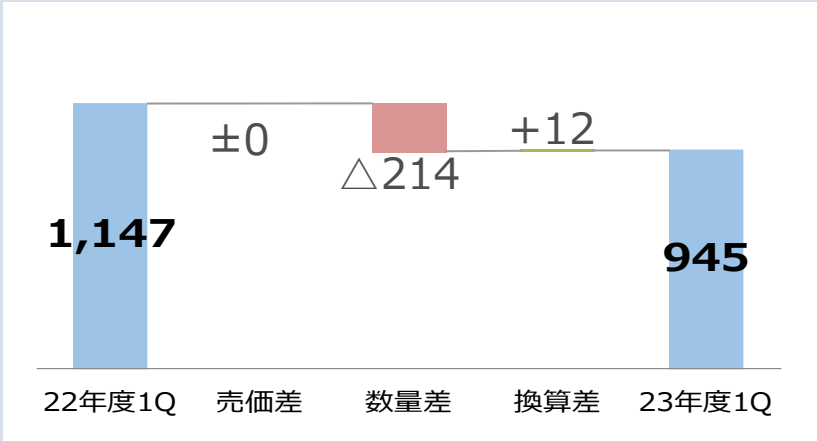
数量差
△138億円

□ 自動車用途等出荷減
(レゾルシン・アルミニウム等)

換算差
+7億円

売上収益増減分析 (対前年同期実績)

情報電子化学セグメント



945億円 (前年同期比Δ202億円)

売価差
±0億円

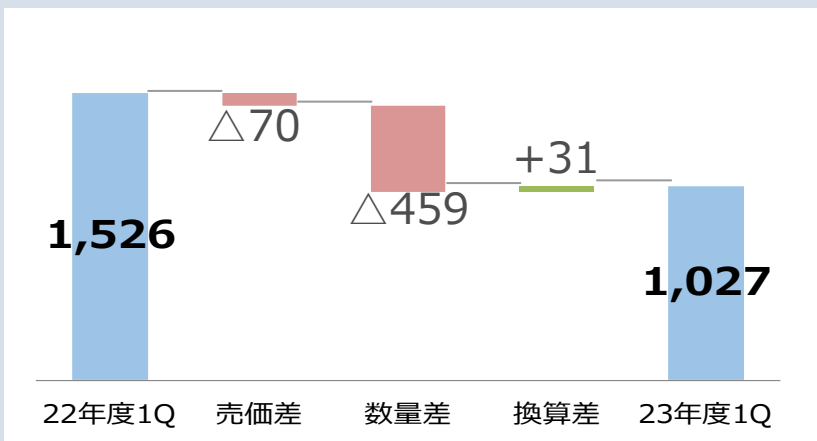
- 偏光フィルム売価下落
- 高純度ケミカル値上げ

数量差
Δ214億円

- ディスプレイ関連材料出荷減少
- 半導体プロセス材料出荷減少

換算差
+12億円

健康・農業関連事業セグメント



1,027億円 (前年同期比Δ498億円)

売価差
Δ70億円

- メチオニン市況下落

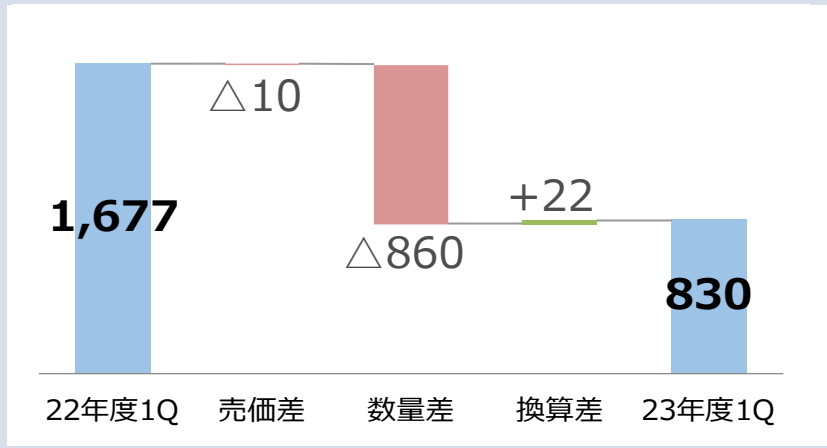
数量差
Δ459億円

- 南米等における農薬出荷減少

換算差
+31億円

医薬品セグメント

830億円 (前年同期比△847億円)



売価差

△10億円 □ 国内薬価改定

数量差

△860億円 □ ラツード独占販売期間終了

換算差

+22億円

外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	22年度1Q	23年度1Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	332	211	↘ 交易条件悪化および販売数量減少
ペトロケミカル・コーポレーション・ オブ・シンガポール (百万USD)	836	583	↘ 交易条件悪化
ラービグ・リファイニング・アンド・ ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	14,402	10,981	↘ 当期定修の影響、石油精製マージンおよび 石油化学品マージンの悪化
東友ファインケム (億KRW)	5,964	4,573	↘ ディ스플레이関連材料販売数量減少による 減益
ベラント ノースアメリカ (連結ベース) (百万USD)	185	203	→ ほぼ横ばい

単位:億円

	22年度1Q	23年度1Q	増減	主な差異要因
日本	168	148	△ 20	
北米	141	155	14	
中南米	616	194	△ 422	流通在庫の増加による出荷数量減少
アジア (インド含む)	174	135	△ 39	インドでの天候影響（モンスーン遅れ）、 流通在庫の増加による出荷数量減少
欧州その他	53	49	△ 4	
合計	1,152	681	△ 471	